

ニッセイ インターネットアンケート ～9月:「敬老の日と老後・相続」について～

日本生命保険相互会社(社長:筒井義信)は、「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニューのひとつとして、ホームページ(<http://www.nissay.co.jp>)内の「ご契約者さま専用サービス」にて、「敬老の日と老後・相続」に関するアンケート調査を実施いたしました。

《調査概要》

- 調査期間：平成28年8月1日(月)～8月24日(水)
- 実施方法：インターネット(PC・携帯電話モバイルサイト)による回答
- 調査対象：「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニューアンケートへの訪問者
- 回答者数：10,271名(男性:5,419名、女性:4,852名)

＜年代別回答者数＞

[名, %]

年代	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	合計
男性	344	909	1,554	1,505	809	298	5,419
女性	478	884	1,298	1,189	691	312	4,852
合計	822	1,793	2,852	2,694	1,500	610	10,271
占率	8.0	17.5	27.8	26.2	14.6	5.9	100.0

《調査結果のポイント》

ポイント①

質問1

- 敬老の日のプレゼントは、贈る側・贈られる側ともに「食事・グルメ」がトップであった。
- プレゼントの予算・希望金額は、贈る側・贈られる側ともに「5千円未満」が6割超とおおむね一致し、「1万円以上」という高額な領域については開きがあった。

ポイント②

質問2

- 老後については、約6割の方が「不安」を感じており、そのうち約8割の方が「老後の資金」を主な不安要素と感じている結果となった。
- ゆとりある老後生活に必要な生活費は、夫婦2名の場合「30～34万円」、単身の場合「20～24万円」がトップであった。

ポイント③

質問3

- 相続については、「不安」を感じていない方のほうが多く、「不安」を感じる方でも約6割の方が相続対策を行っていないという結果となった。
- 現在の保有金融資産は、全体では約半数が「500万円未満」、年代別でみると、60代の方は約4人に1人が、70代以上の方は約5人に1人が「3,000万円以上」という結果となった。

質問1 「敬老の日」について

- (1)【贈る側への質問】 プレゼントは何を贈る予定ですか？ (回答者数：4,450名)
 (2)【贈られる側への質問】 プレゼントは何がほしいですか？ (回答者数：1,061名)

○昨年同様、贈る側・贈られる側ともに「食事・グルメ」がトップ
 ○贈られる側は「旅行・温泉」が2位に続くが、贈る側との思いには今年も開きがあるようだ
 ○また、贈られる側は「手紙・メール」「電話でお祝い」が昨年に続き1割を超えており、離れて暮らすケース等ではモノよりも気持ちが(連絡をもらうだけでも)嬉しいようだ

(1)【贈る側への質問】何を贈る予定ですか？

順位	贈る側	(占率)
1位	食事・グルメ	37.6%
2位	お菓子	12.5%
3位	衣類	12.2%
4位	花	10.4%
5位	酒類	7.3%
6位	現金・金券	7.0%
7位	電話でお祝い	3.4%
8位	旅行・温泉	3.2%
9位	健康グッズ	2.5%
10位	手紙・メール	2.0%
11位	その他	1.9%

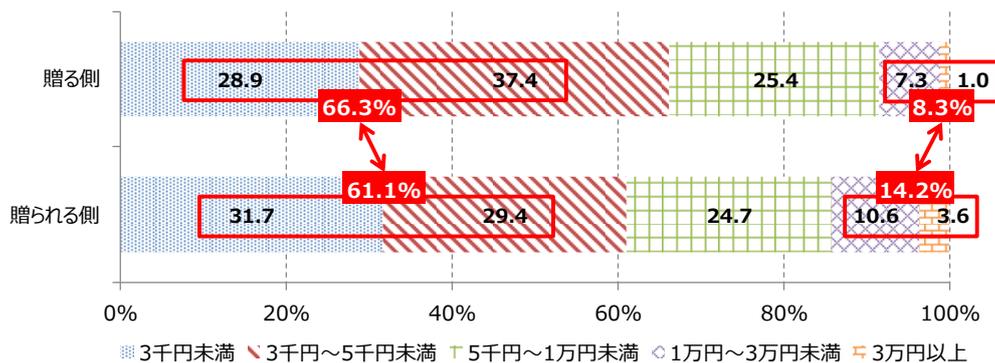
(2)【贈られる側への質問】何がほしいですか？

順位	贈られる側	(占率)
1位	食事・グルメ	32.2%
2位	旅行・温泉	14.6%
3位	酒類	10.7%
3位	現金・金券	10.7%
5位	花	6.2%
6位	手紙・メール	5.8%
7位	衣類	4.7%
8位	電話でお祝い	4.6%
9位	お菓子	4.3%
10位	その他	3.7%
11位	健康グッズ	2.4%

10.4%

- (3)【贈る側への質問】 プレゼントの予算はいくらですか？ (回答者数：3,095名)
 (4)【贈られる側への質問】 プレゼントの希望金額はいくらですか？ (回答者数：1,003名)

○「5千円未満」と回答した方は贈る側66.3%、贈られる側は61.1%とおおむね一致
 (昨年は贈る側67.2%、贈られる側は57.6%と開きがあった)
 ○また、贈る側は「1万円以上」と回答した方は8.3%であったが、贈られる側は14.2%であり、高額な領域については、昨年同様贈る側の予算と贈られる側の希望金額には開きがあるようだ



<ニッセイ基礎研究所 矢嶋康次チーフエコノミストのコメント>

- 昨年同様、贈る側はモノなどをプレゼントする傾向が強いようですが、贈られる側は子や孫と一緒に過ごす時間や交流できる機会を持つことを望んでいるようです。
 ○また、贈られる側は「手紙・メール」「電話でお祝い」を望んでいる人も多く、モノを贈る場合は、同時に感謝のメッセージを添えるようにすると喜ばれるでしょう。



(5) 理想の「祖父母」で思い浮かべる著名人は誰ですか？

(回答者数：4,482名)

<祖父>

順位	氏名	(昨年順位)
1位	加山 雄三 さん	(1位)
2位	長嶋 茂雄 さん	(2位)
3位	所 ジョージ さん	(4位)
4位	高倉 健 さん	(7位)
5位	西田 敏行 さん	(13位)

<祖母>

順位	氏名	(昨年順位)
1位	八千草 薫 さん	(1位)
2位	樹木 希林 さん	(2位)
3位	吉永 小百合 さん	(3位)
4位	森 光子 さん	(4位)
5位	黒柳 徹子 さん	(5位)

質問2 「老後」について

(1) 「老後」に不安を感じますか？

(回答者数：9,681名)

- 「老後」に不安を感じると回答した方は、昨年より0.7ポイント増加し59.2%となった
 ○年代別でみると、60代以下では全年代で半数以上の方が「老後」に不安を感じていると回答

	全年代		～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
		対前年						
感じる	59.2	+0.7pt	51.4	63.8	63.3	61.8	50.7	44.9
感じない	10.2	▲1.1pt	13.4	9.1	7.4	8.1	13.8	22.9
どちらともいえない	30.7	+0.5pt	35.2	27.1	29.3	30.1	35.5	32.2

[%]

(2) 【不安を感じる方への質問】主に不安に感じることは何ですか？

(回答者数：5,729名)

(3) 【不安を感じない方への質問】不安がない理由は何ですか？

(回答者数：984名)

- 「老後」に不安を感じる方の不安要素は、「老後の資金」が78.4%でトップ。次いで、「病気・ケガ」が50.9%、「年金制度の今後」が34.2%となった
 ○「老後」に不安を感じない方の理由は、「十分な貯蓄があるため」が34.8%でトップ。次いで、「健康維持に努力しているため」が28.8%、「個人年金保険を積み立てているため」が24.0%となった

(2)【不安を感じる方への質問(複数回答可)】

(3)【不安を感じない方への質問(複数回答可)】

順位	主に不安を感じること	(占率)
1位	老後の資金	(78.4%)
2位	病気・ケガ	(50.9%)
3位	年金制度の今後	(34.2%)
4位	自分自身の介護	(32.4%)
5位	親の介護	(26.8%)
6位	老後の住環境	(16.1%)
7位	老後の仕事	(14.5%)
8位	住宅ローン等の返済	(8.9%)
9位	会社からの退職金	(8.2%)
10位	地震等の災害	(8.0%)
11位	子・孫の面倒	(7.3%)
12位	その他	(0.7%)

順位	不安がない理由	(占率)
1位	十分な貯蓄があるため	(34.8%)
2位	健康維持に努力しているため	(28.8%)
3位	個人年金保険を積み立てているため	(24.0%)
4位	相談できる(頼れる)家族がいるため	(16.9%)
5位	老後のプランをしっかり立てているため	(16.5%)
6位	資産運用を行っているため	(14.7%)
7位	老後のために節約しているため	(12.7%)
8位	生命保険への加入・見直しを行ったため	(11.0%)
9位	その他	(7.4%)
10位	資格取得など自己研鑽をしているため	(5.4%)
11位	副業をしているため	(4.2%)
12位	専門家(FP等)に相談しているため	(1.3%)

(4) ゆとりある老後生活に必要な1カ月あたりの生活費(夫婦2名の場合・単身の場合)は、
 いくらくらいだと思いますか？

(<夫婦2名の場合>回答者数：8,160名)

(<単身の場合> 回答者数：6,975名)

○夫婦2名の場合は、「30～34万円必要」と回答した方が、昨年より6.5ポイント増加し37.3%と最も多くなった(昨年は「35万円以上必要」が36.0%で最も多かった)
 「35万円以上必要」も含め、「30万以上必要」と回答した方は59.7%を占めた
 ○単身の場合は、昨年同様「20～24万円必要」と回答した方が、37.9%と最も多くなっているが、「15～19万円必要」も含め、「15～24万円必要」と回答した方は64.5%と昨年より約10ポイント上昇

<夫婦2名の場合>

	全年代		～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
		対前年						
20万円未満	6.5	+1.4pt	10.1	9.5	7.0	4.7	2.8	7.4
20～24万円	19.7	+3.7pt	18.0	23.0	23.1	17.1	14.8	20.0
25～29万円	14.0	+1.9pt	13.4	13.4	14.0	14.2	14.8	13.9
30～34万円	37.3	+6.5pt	32.3	33.2	37.2	40.1	40.9	35.0
35万円以上	22.4	▲13.6pt	26.1	20.9	18.6	23.9	26.6	23.7

<単身の場合>

	全年代		～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
		対前年						
15万円未満	13.5	+3.8pt	17.7	17.9	15.0	10.8	7.9	9.7
15～19万円	26.6	+4.5pt	28.4	29.2	27.6	25.4	22.3	25.8
20～24万円	37.9	+5.0pt	31.9	35.1	38.9	38.7	41.7	38.4
25～29万円	9.5	+0.8pt	8.5	7.9	8.1	10.7	12.2	10.7
30～34万円	9.9	+1.0pt	10.4	8.3	7.9	11.1	13.3	12.3
35万円以上	2.6	▲15.1pt	3.1	1.6	2.5	3.3	2.6	3.1

<ニッセイ基礎研究所 矢嶋康次チーフエコノミストのコメント>

○生活費が「35万円以上」必要になると回答した方が、1年前と比べて夫婦2名の場合は13.6pt、単身の場合は15.1ptも減少しています。
 今年に入り、デフレ色が強まり、円高の進行や消費増税の延期により、モノの値段が上がっていくという見方が後退していることが影響していると考えられます。

(5) 老後の生活のために何歳まで働きたいですか？

(回答者数：9,474名)

○働きたい年齢は、「60～64歳」が40.7%と全年代でトップとなったが、それを上回る43.9%の方が65歳以上まで働きたいと回答している
 ○年代別で見ると、60代以上では65歳以上と回答した方が他の年代よりも高く、定年世代になるにつれて働きたい意欲が強くなる傾向があるようだ

	全年代						
	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	
60歳未満	15.4	21.4	17.3	15.9	14.5	12.4	8.4
60～64歳	40.7	48.2	44.5	40.6	42.1	34.6	24.6
65～69歳	27.4	21.6	26.7	27.7	27.5	31.7	23.7
70～74歳	8.6	5.3	5.6	8.3	8.3	12.4	18.4
75歳以上	7.9	3.5	5.8	7.5	7.6	8.9	25.0

(6) 老後に住んでみたい都道府県はどこですか？

(回答者数：7,972名)

○老後に住んでみたい場所は、昨年同様「沖縄県」が最も多く、「東京都」、「北海道」が続いた

順位	住んでみたい都道府県 (昨年順位)	順位	住んでみたい都道府県 (昨年順位)
1位	沖縄県 (1位)	6位	兵庫県 (7位)
2位	東京都 (2位)	7位	愛知県 (6位)
3位	北海道 (3位)	8位	千葉県 (11位)
4位	大阪府 (4位)	9位	静岡県 (10位)
5位	神奈川県 (5位)	10位	福岡県 (8位)

質問3 「相続」について

(1) 「相続」に不安を感じますか？

(回答者数：10,271名)

(2) 相続対策は行っていますか？

(回答者数：9,748名)

○「相続」に不安を感じている方は20.7%、感じていない方は42.1%と感じていない方のほうが多いようだ。また、「どちらともいえない」が37.1%と相続に対して実感がない層も多いようだ

○なお、「相続」に対して不安を感じており、実際に相続対策を行っている方は13.7%と少数であり、約3人に2人(62.1%)は、不安を感じているものの、相続対策を行っていないようだ
(全体でも54.7%と半数以上が相続対策を行っていない)

(1) 「相続」に不安を感じますか？

[%]

	全年代		～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
		対前年						
感じる	20.7	+0.6pt	15.5	22.7	21.6	21.9	19.8	15.7
感じない	42.1	▲0.9pt	39.2	40.0	42.4	41.8	44.8	46.6
どちらともいえない	37.1	+0.3pt	45.4	37.3	36.0	36.4	35.4	37.7

(2) 相続対策は行っていますか？

[%]

	合計		不安を感じる方	不安を感じない方	どちらともいえない方
		対前年			
行っている	8.4	+0.4pt	13.7	8.6	5.1
行っていない	54.7	▲0.2pt	62.1	60.9	43.2
どちらともいえない	21.3	+0.7pt	18.9	7.9	38.1
相続する財産がない	15.6	▲0.9pt	5.4	22.6	13.6

(3) 【相続対策を行っている方への質問】

どのような手段で相続対策を行っていますか？

(回答者数：821名) ※複数回答可

○相続対策としては、「計画的な生前贈与」が75.2%とトップ。次いで、「生命保険への加入」が67.8%、「税金に関する知識の習得」が31.1%となった

順位	相続対策手段	(占率)
1位	計画的な生前贈与	(75.2%)
2位	生命保険への加入	(67.8%)
3位	税金に関する知識の習得	(31.1%)
4位	遺言書の作成	(21.0%)
5位	不動産の活用	(15.1%)
6位	専門家（FP等）への相談	(11.4%)
7位	相続信託の活用	(7.1%)
8位	その他	(7.1%)

<ニッセイ基礎研究所 矢嶋康次チーフエコノミストのコメント>

○2015年1月の税制改正により、相続税の基礎控除額が4割縮小しました。これを受けて、相続税の課税対象者は増加しています。相続対策として、最も回答が多い生前贈与は、年間110万円は基礎控除となり、贈与税がかかりません。生前に計画的に行えば財産を圧縮することができます。ただ、アンケートの結果からは半数以上の方がまだ対策を行っていません。特に、不安を感じると回答した6割以上の方が対策を行っていませんでした。

(4) 現在のご自身の金融資産はいくらくらいですか？

(回答者数：9,299名)

○全体では、約半数の51.2%が「500万円未満」と回答

○年代別にみると、40代以下では半数以上が「500万円未満」に対し、60代の方は約4人に1人(25.2%)が、70代以上の方は約5人に1人(19.9%)が「3,000万円以上」の金融資産を保有していると回答しており、高齢の方ほど金融資産額は大きい傾向にある

	[%]							
	全年代	対前年	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
500万円未満	51.2	+1.2pt	90.0	67.4	55.3	41.4	24.8	36.1
100万円未満	20.3	+0.6pt	43.6	28.2	22.6	14.4	6.4	12.5
100～300万円未満	16.9	+0.5pt	32.2	22.4	17.8	13.2	9.1	10.9
300～500万円未満	14.0	+0.2pt	14.2	16.8	14.9	13.8	9.2	12.7
500～1,000万円未満	17.4	▲0.2pt	6.6	17.9	18.4	18.0	19.4	18.9
1,000～3,000万円未満	20.0	+0.1pt	2.6	11.5	18.2	26.2	30.7	25.1
3,000～5,000万円未満	6.1	▲0.5pt	0.5	1.9	4.4	7.1	25.2%	14.0
5,000万円以上	5.3	▲0.5pt	0.3	1.3	3.8	7.2	11.2	19.9%

<ニッセイ基礎研究所 矢嶋康次チーフエコノミストのコメント>

○個人の金融資産は1,700兆円に上りますが、当アンケートが示す通り、高齢者に偏っています。その貯蓄目的は、寿命の伸長によって、「生活費」ではなく「病気や介護の備え」に変化しています。

以上